

フードバリューチェーン

技術と発想で新たな価値を提供し、 すべての人が安心・安全に暮らせる社会に貢献します。

人々の暮らしに欠かせない食において、パートナーとともにフードバリューチェーン全体を見据え、「いつでも、どこでも、誰でも、いつまでも」食の安心・安全を届けるソリューションを世界のあらゆる地域に提供していきます。



フードバリューチェーン事業推進部
担当役員
横尾 英博

事業の強み

担い手不足や気候変動に対し、
安定的に栽培できる施設園芸ハウス

クルマで培ったモノづくり技術を農業生産と融合させることで、農作物を安定して栽培できる環境を空調技術で支えます。また、あらゆる人が働きやすい環境になるように自動化技術を導入し、生産性が高く、持続的に成長できる施設園芸ソリューションをグローバルに提供します。

ドライバー不足や配送多様化に対応した、
小型モバイル冷凍・冷蔵機

クルマで培った熱制御技術を活用し、従来の車載用冷凍機を小型化・軽量化・バッテリー駆動で持ち運び可能にし、一般ドライバーや乗用車による柔軟で多様な小口配送を実現します。また、エンジンやドライアイスを使わずCO₂排出量を低減した小型モバイル冷凍・冷蔵機を提供します。

変化する食流通ニーズに呼応した、
新たな流通DXソリューション

製造現場で培ったQRコード®・RFID技術を活用し、多様な食品情報をデジタル化することで、消費者の安心・安全ニーズに応える生産から販売までの食流通情報の見える化に取り組みます。さらに、流通の需給最適化や在庫適正化につながる、一気通貫の食流通プラットフォームを提供します。

事業を通じた社会課題解決



農場の工場化による食料の安定生産

世界的な就農人口の減少や気候変動などによる農業生産の不安定化に伴う食糧不足の懸念が高まっています。当社はクルマのモノづくり技術が生きる施設園芸分野で農場を工場化し、誰でもどこでも安定生産ができる農業の実現を目指します。



大・中規模向け農業ハウス



トマト自動収穫ロボット

具体的には最先端の施設園芸技術を持つセルトングループ（オランダ）と提携し、当社の自動化・環境制御・DX技術などを組み合わせた高効率な農業ハウスを、各地域特性に合わせながらグローバルに展開していきます。

また、持続的な農業生産の実現による地域活性化にも貢献します。北海道伊達市と包括連携協定を結び、環境制御技術を活用した高品質な作物の周年栽培や、ハウス内情報をデジタル化した遠隔栽培システムを通じた次世代農業人財の育成、地域資源活用による低炭素農業構築など、地域活性化モデルとして事業展開していきます。

道の駅間の定温物流／商品融通による地産地消推進

熊本県との包括連携協定を通じ、小型モバイル冷凍・冷蔵機を活用した道の駅間の商品交流モデルの実証を進めています。道の駅での生鮮食品の在庫不足による機会損失や過剰



小型モバイル冷凍・冷蔵機

在庫による廃棄などの課題を、鮮度維持された生鮮食品の施設間輸送・融通で解決し、地産地消とフードロス減を促進します。

産地証明システムによる自治体での産品ブランド向上

QRコード®を活用した食流通情報の可視化を通じ、食の安心・安全に貢献します。熊本県産あさりの産地偽装問題に対しては、当社のQRコード®を活用した産地証明システムを熊本県とともに開発、導入しました。生産から販売までのトレーサビリティを担保することで、消費者へ安心・安全を届けます。今後は、本システムを他産品にも広く展開していきます。



QRコード®での産地情報読み取りイメージ